(一) 第六百六十五號 (日曜日) 明治四十四年四月二日 月曜及祭日の翌日休刊(日刊)

京城新報

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字七字詰一行一回金五十錢 ▲雜報欄、別に廣告五號活字七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久辨一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六大三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

●全南各地發展

全南道に於て邦人の住して實業に從事しつゝある地域は先づ榮山江一帶の地域を以て第一とす。入口に木浦港を控へ、其上には靈巖羅州の各官衙所在地に邦人の居住して陸上には新開墾の道路あり水運の便利を有し就中全南中央の經濟的中心市場たる榮山浦には四百五十餘の邦人居住し公共機關も備はり富裕なる商業に從事するもあり羅州には邦人戶數百四十戶及朝鮮市場としては昔より有名なる南平には二百五十餘人靈巖には二十餘人務安には二百三十餘人の邦人あり何れも小都會の觀を呈し近く發展の域に進みつゝある處なり此の外邦人五十餘名あり此地の細工器具の産出に富み朝鮮人亦一體に富裕にして五萬圓以上の資産家四六戶あり邦人の經營になる鰻の捕獲每年三千貫を下らず晋大浦に繭産せられ陸産物として米の如きも至て品質宜く將來有望の地を以て目せらるゝ樣に光州木浦間の三勝輔の道路新開せられ沿線の各部落は之れにより益々繁盛に赴くの狀態にあり目下木浦榮山浦間は江航汽船の運賃競爭極めて激烈にして三十六哩の航行にして旅客運賃往復十五錢といふ法外の低賃なり此の如くにして交通上一層の便あり更に之に加ふるに三南鐵道の布設を見んか面目又一變すること疑を容れざれば近來同方面に入込む邦人甚だ多く昨年末入手錄の在留邦人は目下一萬餘人を算せらるゝに至りしといふ

●各學校の植樹式

紀念植樹に付き京城民團立各學校は三日の神武天皇祭日午前十時より植樹式を同構內に於て擧行すべしと

●滿鐵の連絡設備

滿鐵にては安奉線と京義線とを連絡すべき鴨綠江架橋工事も其後事業着々進捗して來年十一月中には完成すべく是と同時に安奉線工事も竣成開通を見る豫定なるが滿鐵にては經費百萬圓を投じて善美なるプルマン式旅客列車を本線の急行に使用し安奉線により新義州を經て朝鮮鐵道に直行せしめ以て本州釜山間の連絡を敏速ならしめん計畫を以て目下同工事設計中なるが本年中には寢臺車、郵便車、旅客用手荷物車合計九輛竣工すべき豫定にて先に同工場に於て新調せし同式列車六輛と都合十五輛を以て明年早々より運轉せしむる筈なりと

●長崎の鼠疫通牒

去る三十日午後八時長崎縣知事より明石警務總長に達したる公電左の如し

當地に於て鼠族買收中本月十五日及二十四日長崎市岩瀨戶三菱造船所舍宅に於て斃鼠二月二十三日同市稻田町民家にて捕獲せし生鼠一より細菌檢査の結果ペスト菌一發見したり別に患者なし

右の電報に接したる明石警務總長は直ちに詳細の報告ありたき旨長崎縣知事へ打電したり

雜錄 境遇と友情(下)

春川 やす井生投

而も十幾年の今宵朧の月に對して自分は獨り有樣に追懷に耽つて居る離落した友の多くは月に一度の消息もない、稀に一葉の端書が續々と云ふもの、斯くして忘れるともなく疎遠になれば、感ひ出る日もたまさかに成り行くが人情の習、嗚呼境遇と友情其の間に如何の關係があるだろう乎。

去るもの日に疎しと傳へられた俚諺に根はこもれど、境遇の變化は多くの場合に於て友情を疎停して了ふ、斷つて斷られぬ因緣を結むでみるとか、嗜好や趣味やを全然同一の點に置くするものかは例外として他界から餘儀なくされた友情などは離散して位置や境遇を別にすると、多くは疎停に流れ易い、百年刎頸の交は妄りに結ばれぬものか趣味の一致と職の同一傾向はせめてもの繩縄である。

去りながら境遇が變化し、趣味を異にし、職業と境遇を別にすると云ふのみに、親交膠も啻ならざりし友情が一朝にして疎遠するのは、情の淺いさも退かやられて恨み深きことではないか

異趣味異職業の友の自分に與へて與れた教訓極めて大なるものであつたのに、相離れては互に消息を交さぬどありて一余の懷しさに涙が流れる。

針は持たねど、夜氣冷りと、身に浸む宵に驚いて寐をさむれば今更の如く復る昔の友の懷しさが胸間る新らしき友必らずしも自分を敬へず、古き友を顧みて寂しさに驅らるゝ、今日此頃の思を留め春の夜の一時的發作に留らしめず永く／＼持續きせ度いと思ふ小供心に相留ひ相契つた交情を、百年白髮の後相擁いて瞑眼に臨みたいと蓋し人情の極美ではあるまい乎。

外事一束

▲露國● 首相は波蘭地方議會法案は皇帝の裁可を經たり之を否決せば議會の解散は免れじと國會で言明す向波蘭西部諸州は既に勅令にて自治實施。

▲慘事● 紐育にて勞働者居住十階家屋大火死者百五十四に負傷者二百餘人。

▲教書● 米國大統領は日本が墨國に對し野心を抱有の說は一切不信用との

▲言明● 教書を發し我陛下は全然大統領の言を確信せらるゝ旨宣せ給ふ。

▲獨葡● 關係に付獨逸外相は議員の質問に答へ國交關係不滿足なりと云ふ。

▲理由● 前記獨葡關係不滿足の譯は獨逸尼僧其他臣民の放逐問題に依るなど。

▲伊國● ヂヨリチー氏は目下內閣組織中也社會黨員ビスラチ氏は于氏政綱

▲贊成● なれども良心上の理由にて內閣に列する事を拒絶したりと云ふ。

▲英國● 上院にてスタンホップ卿朝鮮併合の折柄朝鮮に於る英人利權保護に付如何なる方法を採りしかと質問し外相は目下日英兩國間にて滿足決定を見んため不公式に意見交換進行中なりと答へ尚鑛山供地權△は既に滿足なる約言を得關稅に付て前以て日本に現在狀態繼續の確約△を求ることは不可能なりと陳述し併合の際日本が與へし約定を說明す。

召使れ初



第四十回 黑法師

「什麼ちや／＼」と德右衛門は群集せる人々を押分けて「何事起つたよ」

「若旦那樣ございますか、大へんな盜人、然も兩刀を挿して居ります」と善吉は得意顔なり

「怖い奴、この混雜を付け込んで、物にせうとは見た、腰に挿した大小も何れかで奪ひ取つたものかも知れぬ、總上げてお狀させ」

「これに如才無う先刻から問ひ訊ね居るでござりまするが、强情にも一言も云いませぬ」

「圖太い曲者、普通の盜賊とは見ぬの」と、德右衛門はずつと出て「れのれ何用あつてこれへ來た」

盜賊と呼ばれて圃の中に蹲踞り伏目になりて無念の齒を嚙み居れるは、改めて云ふまでもなき佐十郎なり、彼はた道に心强く咎められて、取り付く島も無く悄然と歸り行く背後より思ひ掛けなく「盜賊々々」と呼び立てられて、逃げるにも道なく、辯解するに詞もなく妹が厄介になり居れる家の人を相手取不靈に長き物を閃かすも心無ければ、番頭手代下男の大勢に取圍まれて、何容々々この牡丹畑へは引き摺られたるなり、麒麟も老ひては駑馬に劣ると目もある、れ前なんぞに云ひ締められ、千五百石取る家の世繼も、浪々さらばと引き退る私でない、兩刀挿す貧苦の身となりては、名もなき町人の武士なら、歌舞伎役者は萬石取、おや召使に辱められて、此處に無據の恥四の五のいふな」と情無く手ひ切つて辱を受くる、時世とは云どへも是非なき仕儀なり

「貴公當家の若主人でござるかよ」と佐十郎は賢吉に寄りし顔を擡げぬ

「うぬが何うちや」と德右衛門はれ强に辛く當られし恨みを目せて、洞强く問ひ返へし「當家の忰なら何うしたといふのちや」

「折入つて御願ひ申す事がござる」

「こりや面白い、私も此年になるが、まだ盜賊から物を賴まれた事がない、何事ちや、云ふて見」

「妨儀な奴になつて姓名を申し上げるは恥ち入る、なれど假にも兩刀挿した身物取强盜致すでは決して無い、斷りもなく當家の庭中を徘徊、れ召使ひに見咎められて、此の通り詮議を受くるも身から出た錆なれば不足は申さぬ、不肖ながら將來は歷とした身分に露つて、今日の不禮致したい、平に此まゝれ見遁しを願み存ずる」

身に落度ありと思へばこそ、枚服付けたる身が大地に兩手を支きて云ふ、されど德右衛門に情はなかりき。

「口惜さう云ふた唏、おやが此方にも

「善吉、繩掛け、國尾樣御歸らせを待ちて、御詮儀、その上で町會所へ引き渡す」

「御立腹は御有理、盜賊とのれ疑ひ云ひ解くに詞はないが、弓矢八幡も御照覽、只今申し上げた事に毛頭相違ない我等浪人は致し居れど、以前は然る者の果、今日の一命れ助けあらば、生々世々、御厚恩、平に御宥恕願存ずる」

「什麼ちや、弓矢八幡ちや」と德右衛門はからく笑ひ「八幡樣もれ前なぞの口に呼ばれては礼名が穢れる、今さら詫び入り、大地に兩手を支くほどなら何故斷りもなく庭內へ潜び入つた、れ客來のざさくさ紛れ、奥の任物して遣らう魂膽、その目の色に歷々見ゆる容赦ならぬ、善吉繩掛け」と威丈け高に云ひたりき。



東京電報（一日）

●清國借款と銀行會 東京の重なる銀行家は一日東京銀行集會所に會合し清國借款條件に關し左の如く決定す ▲發行債券九百七十五萬圓 ▲一株額面に對し金五圓 ▲申込期日は五月一日より六日迄とし ▲六月一日を以て金額の拂込を爲す ▲償還方法は適宜に定む ▲利子支拂期は六月一日十二月一日の二回とす

▲桂首相と政友幹部 桂首相は三十一日夜政友會の幹部員を招きて慰安を與へ張りたり

●朝鮮法律發布 一日 朝鮮總督府鐵道會計所屬資金繰入に關する法律朝鮮軍人に關する件總督府中學校官制改正外一件勅令を以て公布されたり

▲海獸會議出席者 膃肭獸保護の爲め開催の國際海獸保護會議には我邦より內田駐米大使及農商務省水產局長出席する事に決定したり

▲遣英艦員に賜金 天皇陛下には侍從武官を今回遣英艦利根鞍馬へ差遣され乘組員へ金五百圓を御下賜相成りたり

▲京都大火後報 三十一日京都新京極の火災は戶數五十餘を燒失し五六の負傷者を出せり

▲相浦中將危篤 豫備海軍中將相浦紀道氏は肺炎に罹り危篤に陷る

▲廢艦五隻發表 海軍省は本日鎭遠艦、八重山艦、比叡艦、赤城艦、高雄艦の五隻を廢艦となす旨發表せり

日英新條約內容

日 英新條約は複雜なる交涉を經へたるに以て多分四月三日倫敦に於て調印せらるべく其內容は英國側に於ては生糸並に原料を除き羽二重其他の重要品に對して從前の期間內關稅を課せざる條件を以て所謂双務的形式を取り日本側に於ては英國よりの重要輸入品綿毛織物等に對し關稅を二分乃至七分方引下げ與ふ海岸貿易に關しては開放は拒み英國側の希望なりしも我は絕對的に禁止法を採り結局其主張を貫徹したりと云ふ

郵便貯金規則發布

三十一日朝鮮總督府令第三十一號を以て朝鮮總督府郵便規則發表されたるが全文百四十六條より成るものにして來る五月一日より之を施行すべく該規則の內容は第一章總則第二章貯金預入第三章貯金拂戾第四章貯蓄券拂入保管及賣却第五章特別貯金に關する事を規定し大體に於て內地郵便貯金規則と大差なし

●追加豫算公布 一日の總督府官報を以て四十四年度歲入出總豫算追加及同各特別會計歲入出豫算追加等公布されたり。

政務總監出張

山縣政務總監は二日午前九時十分南大門發隨員數名從へ三日間の豫定にて平壤及鎭南浦視察の途に就く筈

●政務總監の隨員 別項政務總監鎭南浦鹽田視察として出張に付隨員には鈴木司稅局長、桑原秘書官、藤波通譯官大橋大尉の四氏同乘出發すと

●總監獨武官招待 獨國陸軍少佐ローランデル・ヒヴルジンスキー氏は東洋に於ける各國の殖民事情調査の爲め臺灣を經て此程入京したるが山縣政務總監は一日午後六時より右少佐及獨國領事を官邸に招きて晚餐會を催す由にて明石少將、小宮李王職次長、小松外事局長外波少將萩田書記官桑原秘書官等陪席す

●道分掌規程改正 水道事務取扱に關し道事務分掌規程を改正し京畿道及平安南道に水道係を置く事となり之に伴ふ定員の增加は別に官制改正の勅令を以て發布せらるべしと

●銀行券通用禁止 從來韓國銀行の發行したるものと看做されたる株式會社第一銀行五十錢券二十錢券及び十錢券は明治四十五年三月三十一日限り其通用を禁止すと告示されたり

商業會議所聯合會彙報

▲準備聯合會開催 本月開催の商業會議所日鮮聯合會は既報の如く破天荒の大會合なれば主催者側としては其名を辱しめず且つ充分に効果を收めざるべからず隨て幾多準備を要するものあり依て例年九月開會の在朝鮮十商業會議所聯合會を繰上げて來る二十一日より開催し一方には提出議案を研究し他方には各般の準備を打合はすべく既に召集狀を發したり

▲漢銀の招宴計畫 漢城銀行は今次の大聯合會計畫を耳にするや滿腔の誠意を披瀝し其一行を請じ歡迎を開きたき希望を申出でたりと

▲提出議案研究 內地全國を網羅し盡くせる大聯合會なるも扨て之に提出せんとする議案を求むれば殆んど有つて無きが如き感あり故に問題は成るべく廣く且つ共通的性質を帶ぶるものならざるべからず若し地方的問題のみを提出せんか折角の計畫をして失敗に了らしむべく旁々主催者の緊張一層なりと某當局は語れり

▲政府側と民間 本聯合會に對し政府側と民間とは自から其期待を異にする傾向ありといふが先づ民間各銀行會社及有力なる紳商側の意見を聞くに概して非常の意氣込を以て其成功を期待し居れるが如し之が爲めか早くも經費の補助に供すべく寄附を申込めるもの續々ありと云ふ

卅一日の民會本會議

京城民會は三十一日午後八時十五分より本會議を開けり出席議員諸長以下十七名豫算關係の追加議案を先決問題たらしむべく議長の宣告あり異議なく採用せられ直に理事者提案の議員手當二圓を三圓とす可き追加案を付議し民長簡單に其理由を說明するや皆川君猛然として起ち自治制度の根本義より說き或は各民團の例を引きて其不法を論難し現に實費辨償の意味なりとせば現給額にて充分なり若し夫れ報酬を意味するものならば少くとも二十圓を受けざるべからずとて頗る手强き反對なり大村百藏君之に對し元來東洋人は慈善を衒ふ癖がある當然得べき報酬を受けんとするに斯かる遠慮を爲すが如き本員の最も遺憾とする處なり而して現給手當の增額は居留民全體の希望にして士を待つ所以の道なりとて熱心增額說を唱ね一躍五圓に增額すべしとの修正動議を提出せり此間贊否の聲熾んに起り特志の方は辭退するでせふ杯と當て擦すりを爲すものあり結局大村君の修正動議を採決せしに可とするもの曾我三好栗古高橋渡邊大村の六名次で民長提案を採決せしに可とするもの林田和田深水城岩田持井の六名にして兩案とも過半數を得ざりしを以て此場合に於ける議事規則四十三條に基き立案委員を設くる事となり議長の指名にて左の諸氏を擧げたり

和田常一、皆川廣濟、前田熊市、大村百藏、高橋章之助

夫より追加議案の漢城病院報酬を二百圓に增額の件付議され異議なく直に可決確定し次で陸軍借下地返還の件は法律上より論ぜる皆川君の詰問と高橋君の注意に依りて撤回され更に高女補修科增設の件及授業料規定の件を付議し讀會省略滿場一致の下に可決確定したり最後に私立女子技藝學校補助建議案を付議し委員の報告あり高橋君補助決定後に於ける民長の意見を問ふ民長之に對し經費多端の今日の場合斯かる補助問題は未だ研究し能はず殊に補助政策の採否を先決問題として考究の上ならでは如何とも答辨能はずと述ぶ然れども大勢既に定まれる爲め何等の效果なく直に採用せられ而して豫算の本問題に入り和田委員長の報告ありて直ちに第二讀會に移すべく決し午後十時三十分散會せり

昨日の京城民會

別項に引續き昨日午後一時より本會議の第二讀會を開きたるが總議員の過半數より成れる委員會審查の結果なれば別に議論なかるべしと推測されしに案外に議論多く本紙締切時間までには議了を見ず委員の查定豫算は左の如し

經常歲入	三十一萬九千三百圓
臨時歲入	八千五十圓
計	三十二萬七千三百五十圓
經常歲出	二十九萬五千九百十圓
臨時歲出	三万一千四百四十圓

▲人さまざま▼（三十二）

三島太郎君

學士名簿に君の名が見えぬ、ハテ不思議と訝かつて調べて見たら、卒業の恒例となつて居る學士會の招宴に行かなかつた爲めであるそうな、君は三十一年の帝大出身で小原地方局長が貴族院書記官たりし頭、貴族院書記官で杏傑リン鑑の濟度を享けて居つた、夫から大藏書記官に任じ後一錢の發展に際し朝鮮支店監督に聘され國庫部長を兼ねて渡來し引續き韓銀の理事となつたのだ、狩獵は唯一の娛樂で日曜毎に必ず出掛けて行く而かもゴ大層極まる打扮で……處で嘗て雀一羽の獲物すら持つて歸らない今日はれ歸りが遲いから乾瓢鳴か雉を澤山打つたに違いないとて夫人は甲斐々々しくも莅齋居士の食道樂を繙いて料理の準備をして居ると又例に依て例の通りだ、其癖狩獵法杯に對する講釋すれば中々甘い事を言ふ、君は加州百萬石の城下に生れ生粹の梅鉢だが今は北海道に轉籍して居る。

計 三十二萬七千三百五十圓
則ち理事者の提案に比し歲出入共各千七百八十六圓の增加となれり

國庫補助建議

太神宮造營計畫に就て

既報の如く和田常市氏首唱となり太神宮社殿造營に就き國庫の補助を仰ぐべく其筋へ請願の建議案を提出せしが其要旨を摘錄せんに我等遠く母國を離れ半島に移住するに當り常に母國を忘れざらしむる爲め又母國に在ると同じき感想を以て永久的に在住せしむる爲め更に又新附の同胞の爲め當京城に壯嚴なる太神宮社殿を造營するは蓋し國家百年の大計たり然れども我民團の微力にては到底完全に其目的を達すべからざるを以て聞く臺灣には臺灣神社の建立ありて全島の庶民洽く其神威を仰ぎ治化の効頗る甚大なりと思ふに吾が新領土たる朝鮮に於て皇祖の神靈を奉齋するは最も機宜に適へる所以たるを信じ茲に國庫の補助を請ふより以上雄大に之を造營せんと欲するものなりと云々

議長聯合會

民團存立の將來に就ては政府に於ても今尙は五里霧中に在るもの〻如く而して過日衆議院の質問に對する政府答辯によれば目下調査中に屬すと由なるを以て此際在朝鮮の各民團民會議長會議を開き進むで本問題を討究し當局者の參考に供せんとの議起り海津議長主催者となり夫れ〳〵各地に通知を發せり開期は本月末か來月上旬なるべしと

一部教授實行

來る五日より新入學の一年生は卅一日迄に受理せる總數七百四十三名に達し尙ほ續々增加の見込なれば八百名は下らざるべし其他各學年に轉來する者亦尠からず是等は寧ろ先取得權者として取扱はざる可らざれば現民團の學校教室にては到底收容し能はず依て一學年に限り午前午後の二部教授を實行するに決し目下其筋の認可申請中なりと

法官會議列席者

司法省に於て開催すべき司法官會議は愈々來る十六日より開會に付き朝鮮總督府よりは左記十一氏に上京を命ぜられたり

▲朝鮮總督府書記官山邊勇輔▲高等法院長渡邊暢▲高等法院檢事長國分三亥▲京城控訴院檢事長中村竹藏▲平壤控訴院々長辻秀春▲平壤地方裁判所檢事正郷津友彌▲海州地方裁判所長鷹野毀太郎▲海州地方裁判所檢事正齊木幹造▲大邱地方裁判所檢事正北村五七郎▲公州地方裁判所長柳澤佐五郎▲光州地方裁判所長氏野德太郎

●新潟視察團來鮮 新潟縣下の有志者二十餘名は當地にて開催商業會議所聯合大會出席の新潟商業會議所代表委員と共に四月十五日大阪出發の信濃川丸にて渡鮮の途に就き釜山木浦群山等各地視察の上仁川を經て京城に入る筈也

平安線改修工事

平南保線支部に於いて本月上旬解氷と同時に大平江及び石泉並に朝日江の三橋梁を鐵橋に改築すべく既に工事に着手したるが石材其他の材料も全部到着整頓したるを以て今後工事は着々進捗すべき筈なれば遲くも十月下旬には改築竣成し列車の運轉するの運びに至るべしと尙は同線には四箇所に橋梁あり之又四十四年度の豫算に計上しありと云へば豫算の決定次第に右の四箇所の工事も起工せらる〻に至るならんと

●統計主任の任命 司法部の山邊、農商工部の川上、度支部の久芳、內務部の深尾の各庶務課長は何れも今回各部の統計主任を命ぜられたり

●市原總裁歸京 東上中の市原韓銀總裁は三十一日夜歸京したり

●趙重應子出發 既報の如く子爵趙重應氏は一日午前九時南大門發列車にて左夫人竹尚光子を伴ひ東上す

●東拓監事來京期 東拓會社の決算監查のため來京すべき松平直平、野田卯太郎の兩氏は來る五月中旬入京する由にて總裁の出張は未定なりと云ふ

●荻田書記官の上京 荻田總督府書記官は上京を命ぜられ二、三日中出發の由なり

●山口會頭東京出發 穀物稅廢止運動の爲め東上中の山口太兵衛氏は三十一日東京を出發したるが大阪に立寄り五日頃歸京する由なり

●安奉線時間改正 來る五月一日を以て滿鐵本線の時間改正せらる〻を以て此機に際し安奉線の列車發着時間も改正せらる〻に至るべきかと云ふ

●道廳の義務貯金 京畿道廳に於ては今回道職員一同に對して貯金を獎勵するため義務貯金規約を制定し四月一日より實行する筈なるが其貯金標準を聞くに判任官以上は俸給及手當月額の百分二、賞與金は其都度賞與額百分十にして若し此制限以上の貯金をなす時は主務長官に申告すべく貯金事務主任は每月各員俸給中より指定の金額を控除し是れを郵便局に預入し貯金通帳を保管し該貯金は轉免疾病其他已むを得ざる際に限り引出すを得べきも退は長官に其事由を具申して許可を得ることゝなせりと尙淫蕩、巡視、小使、給仕等にも準用すべき筈なり

公人私人

▲廣田濟滄（農銀江景支店長）三十一日入京 ▲赤羽操（平北慈惠院長）入京中の處三十一日平壤へ ▲鱗川亨（平壤同上）同上 ▲神谷卓男（平北內務部長）同義州へ ▲鈴木小太郞（長崎縣技師）同釜山へ ▲久德隆館（陸軍一等軍醫）同仁川へ

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 三十一日の分 乘車客 八五九 下車客 八四二 乘車賃金 一、七〇九、四三
▲南大門驛荷扱高 三十一日の分 發送 一六五噸 到着 三〇六噸 貨物賃金 一、七八一、七九
▲龍山驛乘降客 三十一日の分 乘車客 二三六 下車客 二四三 乘車賃金 三三、九四
▲龍山驛荷扱高 三十一日の分 發送 九八 到着 一四噸 貨物賃金 一五〇一

●仁川各學校の植樹 仁川に於ける各學校に於ては明三日庭園に植樹すべく

しに付連絡船の船長に交迭あり……丸船長は……丸船長……

▲仁川港の出入船舶▼
▲福州丸 一日大阪より入港
▲安東丸 同 大連より入港
▲福州丸 同 大連へ向出港
▲山東丸 同 牛莊へ向出港

▲京城手形交換高▼
四月一日 金高 一九三、八一五、一二 枚數 三八五

▲治外法權▼

日韓併合に關する論功行賞に就いては、ドウ云ふものか當局の御歷々が皆一樣にシラを切つて御座る、併し遠慮は御無用、御辭退には及ばぬ、折角の思召、丸受けなさるが良からう▲論功行賞に關する內地新聞の記事は中々賑かなものだ、而してドレもコレもみんな贊成の樣だ、寺內總督の得意、察するに餘りありだ▲多くの新聞紙、其贊成意見は何れも振つて居るが、取分け振つて居るのが時事新報であるのだ、二十九日發行該紙時事小言に曰く▲日韓併合に關する論功行賞は、イツもの早手廻しに似ず、餘程其取調べを愼重にしたと見ゆ、此頃に至り漸く調査を終了したさうである▲中略殊に合併當時第一の功勞者は明石將軍ぢや、將軍の男爵は安い、伯爵の直打は確かぢや、さすれば總督は侯爵でなければなるまい、イヤ侯爵に昇るのだと云ふ者もある▲宮內其の他の役人も、男爵ぐらいぢや朝鮮貴族と釣合が取れまい、なぞ云ふものもあるソウぢや▲成程それも尤もであるとすれば內地人も朝鮮貴族に列し得ることゝし、朝鮮貴族令に依り侯爵でも伯爵でもドシドシ授けるが最も妙であらうと云々▲以上は時事子の意見だけあつて頗る奇警なものだ、ソウカ總督は新爵子に聽き、自家を始め內地人の朝鮮貴族を澤山に作り、將に出來んとする朝鮮貴族會館へ加入せしむる樣にしたいものだ▲破產に了つた例の大日本勸業會社は今度朝鮮拓殖會社と名を換へ、英資と合同して事業に掛るソウだ▲イヤまだ安心はならぬ、英資とて喰せ者が隨分ある、況んや加藤增雄が未だに附いて居るに於てをやだ▲釜山の韓國瓦斯重役が總辭職をした、兎角權利株が物にならぬどコンナ事になるのだ▲商業會議所の聯合會と相前後して半島各民團の民會議長が聯合會を開くソウだ、賴むべしだ▲度支部臨稅工事部の疑獄兎角一人よりは十人、一致團結の力を愈出て愈サカンだ、被嫌疑者中には已に縛を仰いだ者もあるとの事だ。

▲相場電報（一日）（昨日後場）（當日前場）
▲京阪間 電線 六一、四〇 六一、二〇
大阪 同 六一、三〇〇 六一、二〇〇
▲大阪 株式 同 一二八、八〇 一二九、八〇〇 一二七、七〇〇
▲大阪期米 一二六、〇〇 一二五、〇〇 場休會
日韓綿四月寄十九錢▲五月九錢▲廿九十錢▲六月寄十一圓八十五……最低十二圓二錢

三一は月曜四日は神武……

제665호 1911. 4. 2.

▲大阪株式 (昨日後場)(當日前場) 三四、八〇 三三、六〇 ▲神戸電鐵引 ▲大阪同 ▲東京同 株券同



呪はれ女の半生

▽墮落の動機(二)

スーッと寄り添ふた巣女は男と肩を駢べて歩行ながら「貴郎は妾を覺へて居て下さるでしようね妾しや貴郎を忘れは致ません、れ約束ですもの……」と云つた彼女の語尾は怪しく顫へる。「忘れはしない、併し斯樣土地で會はうとは思ひ掛けんものナア」男の聲も妙に顫へる。「……」默つて歩を運ぶ爪先を凝視た女の眼からはハラ〳〵と散る露の玉、男も無言。暫時して彼女は涙の目を擧げて男の顏を振り仰いだ「叱らずに置いて頂戴」ね、勘忍して貴郎と袂別てからの身の成行を聞いて頂戴、而して思ひ入れ泣かして頂戴も一度會ひたい會ひたいと祈つた願ひが叶つたハ、」何にも言はずに泣かして頂戴、彼女の感情は高潮に達した。止め度もなく溢れ出る涙を拂はんともせず男の肩を搖り動かして、無言の儘に點頭いた男の眼にも涙は湛へられて居た。手を取り交はして暮れて行く夏の野を旭町の方へ。此の男現在京城にあり、故に假名して吉村寅吉と云ふべし

• • • • •

話は其の當時より六年の昔即ち明治三十四年十月十七日に戻る處は栃木縣宇都宮俗に縣廳前の武藏屋と云ふ高等料理店に登つた客と云ふのが同じ所の高等下宿河内屋に永らく滯在してる客人の即ち前に言ふ吉村寅吉、其處と下宿は向ふ前のことではあるし夫れまでもチヨイ〳〵飮みに行くので樓婢は元より家の人達とも相當懇意な間柄なので案内も待たず馴染の森く對した一間を占領してホクリ〳〵樓婢對手に飮り初めたが其の日に限つて一向ハヅまぬので誰れでも好いから一匹生擒つて貰ひたいと注文に及ぶ、と恰度今日新杉本(と記載する)から看板借りて披露目をした秀彌と云ふ夫れや水の滴れる如な美妓があると云ふ、ヂヤー一つ其のを聘した。來たのは水の滴れる如な趣を見せた美くしい妓だ「成程水が滴れる」顏を見るなり斯う云つた吉田の言葉の意味が秀彌に通ずる譯けがない樓婢は「マア」と斗りに笑ひ倒ける手持無沙汰に一人秀彌が詰らなさ相な不安らしい眼遣で吉田と女中とを等分に眺めて挨拶も得せず居る、と氣の付いた吉田は「ヤ秀ちやん……左樣だつたね……氣にしちや不可ないよ、水の滴れる理由はね斯う〳〵した話しからの惡洒落だ、處で今日披露目をした斗りだ[illegible]の方かも願はう一つれ酌てね、れ座附きは拔きで一つれ酌[illegible]交際で一切萬事觀顯[illegible]「オイれみつさん檢番へ秀ちやんを仕舞つてれ呉れつて云つて行つてれ呉れよ」淡泊と而して伸暢と客も藝妓も東京の加かも堀端に架けた橋一つ隔てた斗りの日本橋區油町と馬喰町との生れと云ふので酒もハヅめば話もハヅむ、時刻に遲れて其の夜は惜しい袂を分つた、可愛がつて頂戴よ、聘らしたら直ぐ來てれ呉れと約束して。(つゞく)

●龍山の煙草泥棒

山梨町八番戸魚商岸上晋吉方二階六疊の一室に「行くさきやもんかいな」と此妻兒角浮世は斯んなもの我が家で女郎が頭の暢氣に朝から晩まで昇平和樂を只た二枚の薄圍の中で横臥し居る六人の呑氣者あり此の同臭味の友は先般歌舞伎座の檜舞台にて素人芝居で勸善懲惡の一幕を演せし連中なるが中愛知縣西春日井郡清洲町字朝日番戸不詳林偕行(三四)は昨年窃盜罪にて二ヶ月の監獄住ひをせし男にて昨年十月以來林は夜更けて午前三時頃時々數島朝日等の煙草箱を持歸りては之を他に賣却其の足にて龍山桃山踊鬼樓にて一刻夢千金と柄にも無き大盡を氣取ると云ふを聞き込みたる龍山憲兵隊にては本月廿七日松浦上等兵前記林の居所に踏み込みたる六疊の一室に踏み込みしが火鉢の片側に酒保と刻せし青色スタンプの押捺しある數島大和朝日等の煙草箱を認めしより此奴盜々臭味ありと引立て訊問の結果全く龍山第二師團の酒保に這入り込み倉間は卓子の下に蹲踞姿を晦し夜間窃に山なす煙草の中より窃取窓より飛び出し猶他にも各所にて煙草を窃取し之れを自分にて昨年十二月廿八日京城町煙草小賣商小口屋梅吉に前後六回金八十八圓にて賣却せしを手初めに去る一月頃龍山坊東門外契劉貞獸背坡巨四契六十九統安康煥等に贓品を悉く賣却前記の始末と判明せしが他に餘罪ある見込にて取調べ中同居者富山縣射水郡下村千百八十番地北川武雄一林の依頼を受け贓品を再三賣却せし關係により同樣留置龍山憲兵隊に訊問中なりと

▲大阪期米 ●三十一日前場 三月止出來不申▲四月止十六圓十八錢▲五月止二十五錢▲後場[illegible] ▲仁川米 ●三十一日後場休 ●一日前場當月出來不申▲四月寄十一圓七十九錢▲最高九十五錢▲最低七十[illegible]

●無責任な牛方

三月卅一日午後七時頃仁川宮町二丁目にて牛車の輪が下水の溝に陷りしより進退に窮し牛が藻掻いて居る處を宮町交番所の巡査が認めたるに牛車には荷物滿載しあるに牛方の居らざるより諸所取調べたる處該牛車は新町一丁目天井通關所にて税關濟にて通關したる貨物を積載し各荷主へ配付すべく同所屋鮮人に命じ置きたるにヨボが晝酸をして居る内に牛は日が暮れしより吾家に歸らんと獨りで出懸けて來りし者にて荷物を諸所に落したる爲め天井は一時狼狽したりしが全部發見し夫々荷主へ配達なせりとは幸なりき

●取消

左の如く申込みありたり

拜啓陳者貴社新聞三月三十一日記事中當衛生組合募集基金行先き不明の爲め引致取調中との御掲載なるも募集手續行違ひの事有之候より一應の取調を受けたるも募集基金收支計算書明瞭にして何等行先不明の點更に無之候間該記事御取消し相成度候也

三月三十一日 大和衛生組合長吉川印

●衛生組長引致

大和町大和衛生會の紊亂に關し會長以下數名其の筋に引致され取調中なりし事は既報の如くなるが該事件は會長大和町一丁目末川未次郎以下同三丁目山下伍藏日の出町三十一番戸岡本文藏大和町一丁目高杉米一市橋市松江藤義雄同三丁目西原熊吉同二丁目石光喜三郎富田虎吉阪本長隆神崎爾次郎の十一名にして衛生會基金を募集し該金を胡魔化し居りし嫌あるより南部署に於ては各刑事及巡査十一名をして個人別に引致し夫れ〳〵取調終了し身柄は放還し

一件記録を檢事局に送りしが

該事件が犯罪となるや否は不明なり本社は該眞相を探知し居るも其筋の捜査に差支ゆるを以て後日詳報する事ある可し

●店員絞殺せらる

本町六丁目四十一番地洋服商灘山彌太郎方雇人井村直作(二〇)が三月三十一日變死を遂げ居たるを隣家の者發見其の筋の檢觀を仰ぎたるに正しく絞殺されたる形跡充分なり當時主人は歸省中にて其の甥に當る樓林居(一九)と被害者の二名留守居中の出來事なるが樓林は當時行衛不明なりしかば犯人は同人なるべく動機は使ひ込みを默逃し與れとの要求を拒絶せしに依るとも傳へらる

●小笠原信雄捕はる

東拓會社の社金六千餘圓を拐帶して逃亡したる小笠原信雄は三月卅日長野縣警察署の手に逮捕せられたる旨同警察より警務總監部へ昨日電報達したり同人は現金二千四百餘圓を所持し居たりと

●廉い罰金

京城御成町永井市松(三十)米倉町竹中喜太郎(三十)北米倉町西川清太郎(三十)住所不定水野きな(三四)米倉町廣島虎吉(三四)相生町市川松之助(☆三)の六名は何れも賭博犯傳染科村なるが三月三日賭博の現場を南部署に檢擧され常習犯として檢事局に送られ京城區裁判所に於て市松は罰金三百圓喜太郎清太郎は各罰金百五十圓きなは罰金五十圓虎吉は三百圓松之助は七十五圓に處せらる

●老婆電車に轢かる

三十一日午後十時三十分頃青坡町居住豐田藤助實母ちな(六三)は孫發雄を連れ入浴の歸途舊龍山行電車に突き飛され頭部を負傷したりと

●日曜樓主は罰金

日曜樓主奧川安次郎の傷害犯は罰金二十圓に

●籾二十三石九斗

京畿道長端郡江南面禹根里十二統一戸金明允(四六)は南部鑄洞朴慶浩より四十三年中の收穫米籾二十三石九斗の籾を取立を依頼され二十三石九斗の籾を取立て之を無斷賣却し代金百七十餘圓を費消し檢事局に送らる

●仁川のボヤ

三月卅一日午後五時頃仁川栗木洞十統十戸秦學明方温突より發火し一時大騷をなせしが間もなく消し止めたり

●日田嘉吉氏令閨の訃

壽町一丁目土木建築負請業日田嘉吉氏令閨たけ子は豫て病氣の處三月三十一日死去せられたり葬儀は四月二日午後三時自宅出棺明治町淨土宗開教院に於て執行さる

●優等朝顏種子の分與

長野縣下高井郡延德村の高井擴農社にては多年栽培せる秘藏の直徑六寸餘の大々輪咲牡丹、獅子、桔梗、亂菊、唐花、入重、段咲、狂葉類等を種類別けに二百餘種類を撰抜採取したる物を同好者には三千名を限り送料共實費一種類四錢宛の割合にて分與(又十二種類)一組の物を入用の人には一組毎に廿八錢を送れば直ちに挾附し混合種子を望みの人には(百餘種)混合入に栽培法を添へ同廿八錢を送れば何處迄も直送する由

●優等朝顏種子の無代配布

岡山縣邑久郡長船農事試驗場花部にては投賣袋代として切手十錢を送れば各國朝顏園審賭の秘藏朝顏種子二十種花形花色を一々袋に記載して栽培の注意相添へ何人にも無代配布する由

●歌留多競技會

既報の如く三日(神武天皇祭)正午十二時より大和町通信官舍内倶樂部に於て開催す會費金五十錢當日持參の事最優勝者に金牌を贈呈すべしと當日は龍山は云ふに及ばず仁川よりも十數子出征の都合なれば花々敷競技を見るならんと期待せらる因に競技に關する一切の裁斷は年寄及世話人に於て之れを成すべく會員は之れに絶對服從すべしとなり

日曜集會 (二日)

●京城基督教會(日の出町) 同教會は午前九時より日曜學校同十時より米澤牧師の禮拜説教「深奧なる喜樂」午後八時よりは同師の傳道説教「神の實在」

●日本基督教會(旭町四丁目) 同教會は午前九時より日曜學校同十時より外村牧師の禮拜説教あり午後七時半より同師の傳道説教「演題未定」あり

●微笑會 初音町二丁目なる臨濟寺に於ては午後三時より圓山太嶽師の無盡燈論の例會提唱あり參禪隨意

●演藝だより

●歌舞伎座 三日夜より雲右衛門の開演ある筈なるが愈々開演する時は旭町公園にて煙火打揚ぐる豫定なれば夫れを聞いてからノン〳〵ヅイ〳〵御入來あるべし

▲二日目 大石良雄江戸探り、山科妻子別れ、同江戸下り長講三席

▲三日目 安兵衛生立ち、村上喜劍京都四條畷大石面會より泉岳寺墓前の切腹安兵衛婿入の長講三席

●壽座 二日三日の兩日は晝夜興行にして晝は演劇、夜は蟇仙人の妙術

●浪花館 豫て報道したる吉川今勝、京山若圓の一行は豫定に後るゝ五日即ち四月一日夜午後六時より開演すべしと云ふ讀物左の如し

日本男兒うらみの血刀津田三造(吉川孤舟)紙幣贋造の探偵(吉川胡舟)改和歌の讐戀の太刀[illegible](吉川[illegible])[illegible]良落胤[illegible]夢、娘戰實録のピストル(吉川今勝)[illegible]伊の奉れ本傳より討入迄(京山若圓)

運の動

四月二日舊三月四日九紫壬寅赤口閉三りんぼ△一白 [illegible]△二黒 [illegible]△三碧 [illegible]△四緑 [illegible]△五黄 [illegible]△六白 [illegible]△七赤 [illegible]△八白 [illegible]△九紫 [illegible]

●連絡船長以下交迭 今回櫻丸[illegible]連絡船として航海をなす事となり[illegible]に任命され三十一日限り傭船解傭となり[illegible]丸船員は郵船會社に[illegible]

諸公債諸株券
現物賣買
迅速確實に御取扱可申候兼業
京城本町三丁目
大阪野村總七代理店
田中友吉商店

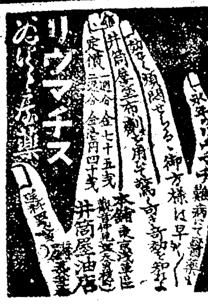
神經をおちつかせ
腦病を全治す
高橋醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、腦病、神經病に奇効を奏し、逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

腦病全治新藥



記憶力惡き人、頭痛する人
神經衰弱にて氣分鬱ぐ人
常に腦神經を勞する人の
必用薬は獨り本劑のみ

黒杉活動寫眞大會
◎家庭教育新派 女の教　◎大悲劇
◎藤尾勇治志を立て東都出發より石谷華子悔悟して悲慘の最期を遂ぐ
◎天然色寫眞 印度セイロン島の絶景
◎滑稽 お轉婆娘の入さわがせ
◎實物寫眞 スマトラ島 ラツトセイ狩實景
◎魔術 極彩色彼の女の花
◎實物寫眞 キーヨルタ市の所見
◎活動寫眞 アルプス山 鹿狩の實景
◎滑稽 伯父樣のかづら
◎實寫 遠洋中漁業の實景
◎冒險寫眞 北極探檢
四月一日ヨリ　京城南大門外於御成座





次亞燐服用の力で體量は參百七拾匁を示せり
痩せた人、産後の婦人、衰弱の方、病後の補血
◎賣捌は各藥店にあり
價 小瓶 五拾錢　中瓶 九拾錢

朝鮮名産
鶴乃箸
（一）鶴の骨細工種々
（二）鶴の羽細工種々
（三）朝鮮土産品種々
製造發賣元　京城本町三丁目（電話二五〇　振替朝鮮四八）　海市商會
特約發賣元　京城本町四丁目（電話九五六）　日之出商行
特約發賣元　京城本町六丁目（電話二一〇）　西崎本店

義齒術全般
京城旭町一丁目
齋藤英壽
電話一四一四番

M.C.C.
エムシーシー
専賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
土耳古　紙巻　實質
京城、本町　龜屋　釜山、木浦、群山高瀬支店

資本金五百萬圓
東京建物株式會社京城派出所
本店　東京日本橋區呉服町一番地
派出所　京城旭町二丁目百十五番戸
電話番號　一六八一番
一、土地建物抵當貸附
一、月賦償却建物建築　建築費用は尤も薄利に請負申候又月賦償却金一千圓に對し五ヶ年とせば毎月元利金二十三圓七十九錢宛に有之候今や解氷期に近き候に付直樣御申込を乞ふ

▲病室落成▼
▲入院隨時▼
一般外科診療　鈴木外科醫院
時間　毎日午前八時ヨリ正午迄　月水金午後四時ヨリ六時迄（毎日曜及大祭日休）
京城旭町壹丁目六十七番戸（電話六九二番）
前大韓醫院外科主任　鈴木謙之助
六百六號注射の需に應ず　ワツセルマン氏梅毒有無の診斷法を始む

景品附巻煙草大賣出し
春陽の候各位益々御多祥大賀此事に存候弊店儀一昨年來鹿兒島縣より農民三百名餘移住せしめ薩摩國分の本場より純粋の種苗移入耕作せしめし處國分葉煙草に劣らざる最良の葉を産出致候間右優等品を以て捲煙を製造致し賣出せしに大々好評を博し候處尚業務擴張の爲め今回更に景品附大賣出仕候に付き多少に不拘最寄小賣店にて御買求被下度開籤の儀は警察官及び有志の立會を乞ひ公開抽籤の上新聞紙上に廣告仕候（但し開籤の場所は追而新聞紙上に廣告可仕候）

●賣出期間 自二月二十日 至五月二十日　開籤五月卅日

新製品　愛國……（五十本入・二十本入）
改良品　パーク……（二十本入）
新製品　鹿兒島……（五十本入）

景品の種目
一等　金二十圓　一本宛　勸業債券　五本
二等　金十八圓　三越呉服店　一本宛　商品切手　三本
三等　金十五圓　貯蓄債券　一本宛　三本
四等　純金指環
五等　銀側時計
六等　薩摩飛白
七等　旅行鞄
八等　婦人用絹張洋傘
九等　置時計一個宛三十本
十等　白米二俵
◎以下一本も空籤なし

京城發賣元　京城明治町一丁目　マ商會
京城發賣元　京城古市町　前之園出張所
製造の優等なるか論より證據是非一度御買求を乞ふ到る處に販賣せり

眼科
日曜及祭日は午後二時迄
京城本町一丁目（憲兵分遣所前）
江頭眼科醫院（電話一一三番）
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

最上醬油
京
大
大浦塚釀造所
永登

淺田飴
だんせきに苦しむ人と常によわき人のお好伴侶！
東京 大阪 堀内
代理店　京城南大門通三丁目　新井藥房
電話九百四番　振替口座京城千六十八番（千六十六番）

◎貸金　旭町二ノ一五（別府組東横坊前向小路）　高橋
有給者には極秘密に低利融通可申候

クルミ印蝶産ーエウルーノ
新荷着



●他のコンデンスミルクの如き臭氣更になし故に小供養育上及紅茶コーヒ等に必適せり
定價金二十八錢

朝鮮特約大販賣
歐米雜貨　洋酒食料品　洋煙草類　直輸入商
朝鮮振替口座八七番　電話二四八番　支店電話三六六番
辻屋

水車唐箕製造販賣
京城瑞町百七番戸
土井米吉工場
電話千三百二十六番

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話　長二三番　四九二番
日本室和食
特等（一圓五十錢・三圓）
一等（一圓五十錢・二圓八十錢）
二等（一圓・一圓六十錢）
三等（一圓五十錢）

鍼灸治療
脚氣、リウマチス、腸胃加答兒、腦病、神經痛、小兒寢小便、其他諸病一切
御報次第參上治療可仕候
京城曙町（取次電話一一八七）
石川源太郎

入院隨意
六〇六號注射の需に應ず
仁川病院
院長　醫學士　由利弘
副院長　醫學得業士　長尾乙二
慈惠會醫學士　尾上早見
東京醫科大學　蘭科專攷　菊池徹
藥劑士　常盤光雄
電話十六番

神戸海上運送火災保險株式會社
資本金五百萬圓
出張所　京城明治町一丁目（電話一五四九）